

- ・『日本語のしくみ(4)』に載せてある問いを、ここに集めました。
- ・解答は、『日本語のしくみ(4)』の「解答例」を見てください。
- ・※印の付いているものは、特に興味深いものです。

V1章

- ※問V1- 1 日本語の動詞(の語幹)はどのような音で終わっていますか。
- ※問V1- 2 日本語の音便現象は、いつごろ、なぜ始まりましたか。
- 問V1- 3 テ形音便とはどのような現象ですか。
- ※問V1- 4 テ形音便の原則とは何でしょうか。テ形音便で発音は楽になりますか。
- ※問V1- 5 「呼気」と「吸気」の違いは何ですか。「声」と「息」の違いは何ですか。
- 問V1- 6 「とふ(問う)」のテ形はどうなっていますか。
- 問V1- 7 「あらふ(洗う)」の否定は、なぜ「あらはない」ではなく、「あらわない」?
- ※問V1- 8 鼻音は有声ですか。無声の鼻音はどのような音になりますか。
- ※問V1- 9 口音と鼻音の違いは何ですか。口腔図での違いはどこにありますか。
- 問V1-10 ガ行の口音と鼻音の違いは何ですか。
- 問V1-11 「貸して」は音便化しているのですか。
- 問V1-12 いくつかの母音末動詞でテ形音便形のないことを確認してください。
- ※問V1-13 上述の「泳ぐ」のテ形は、なぜ「泳いで」のように t が d になるのですか。
- ※問V1-14 「書く」は「かいて」ですが、なぜ「行く」は「いいて」ではないのですか。
- 問V1-15 開始基<-(i)=te->と完了基<-(i)=t-Ø=a(r)->の関係を説明してください。
- 問V1-16 「歌いたい」はなぜ「歌ったい」にならないのですか。
- 問V1-17 県名「鳥取」はなぜ「とっとり」と読むのですか。
- 問V1-18 「飲んで」「笑って」「おはよう」の音便の種類と様式を言ってください。
- ※問V1-19 「尊敬4動詞」とは何ですか。イマス音便について説明してください。
- 問V1-20 イマス音便とテ形音便の異同について説明してください。
- ※問V1-21 「計ります *hakar-i=mas-u*」はなぜ「計います」にならないのですか。
- ※問V1-22 「呼気」と「吸気」で「わたし」「げんき」「あっ」と言ってみてください。

V2章

- 問V2- 1 「彼は椅子に座っている。」の時相をいってください。
- ※問V2- 2 「子どもが生まれたら、この名前にする。」の下線部の時域はどこ?
- 問V2- 3 「子どもが生まれて、名前を知らせてきた。」の下線部の時域はどこ?
- ※問V2- 4 「つ」「ぬ」はどの局面を、「り」「たり」はどの局面をさしますか。
- 問V2- 5 「散らしつ」と「散りぬ」の違いは何ですか。
- 問V2- 6 「散らせり」と「散らしたり」の違いは何ですか。
- ※問V2- 7 「読んだら分かる」の「ら」について説明してください。
- 問V2- 8 「咲けり」の「り」は、命令形の「咲け」に付いているのですか。

- 問V2- 9 「植ゑつる花」と「植ゑたる花」の違いは何ですか。
- ※問V2-10 「ありし人」「ありつる人」の違いを説明してください。
- 問V2-11 「てき」「నికి」は何を表現しますか。
- 問V2-12 「祈りつ」「祈りてき」の違いを説明してください。
- 問V2-13 「もみち散りぬ」と「もみち散りけり」の違いを説明してください。
- ※問V2-14 「男ありき」と「男ありけり」の違いを説明してください。
- 問V2-15 「食ひてけり」はどんな気持ちを表していますか。
- 問V2-16 「(都のてぶり)わすらえにけり」はどんな気持ちを表していますか。
- 問V2-17 上の両表に示された古語の時相表現の大部分が、現代語では「た」で表現されるようになりました。現代語の「た」との対応関係を示してください。
- ※問V2-18 国語文法では「読む」の仮定形は「読め」です。なぜこうなるのですか。

V3章

- ※問V3- 1 -e- による ①他動, ②自然生起, ③可能, ④自他補強の違いは何ですか。
- 問V3- 2 なぜ「原因態」を「使役態」と、「受影態」を「受動態」といわないのですか。
- ※問V3- 3 「対他許容」と「対自許容」の構造を示してください。
- 問V3- 4 k⑩とk⑪の主体(主語)が変化するとはどういうこと? k⑫の場合は?
- ※問V3- 5 本文法で「未然形」や「仮定形」がないと考えるのはなぜですか。
- ※問V3- 6 可能の-e-は子音末動詞に直接付き, 母音末動詞にそうでないのはなぜ?
- ※問V3- 7 「破れる」の2つの表示法, **yabur;e-ru** と **yabur-e-ru** の違いは何ですか。
- 問V3- 8 原動詞の「立つ」はいつ現代語の「建てる」になりましたか(本書p.54)。
- ※問V3- 9 **yom-ur-** の **-ur-** は, 国語文法に認識がありますか。
- 問V3-10 上の図表で, 奈良時代以降, 大きな変化があったのはどの時代ですか。
- ※問V3-11 現代語の「開ける」は奈良時代にいくつの動詞(語幹)の形がありましたか。
- 問V3-12 「抜く **nuk-**」という原動詞は, 上のどの方式で態拡張していますか。
- 問V3-13 方式[2]と方式[3]の **e** の場合は同じようですが, 何が違うのですか。
- 問V3-14 方式[6]と方式[9]は同じようですが, 何が違うのですか。
- 問V3-15 方式[7]と方式[10]は同じようですが, 何が違うのですか。
- ※問V3-16 現代語の已然形はないのですか。仮定形になったのではないのですか。
- 問V3-17 「開く **ak-**」は Z1 にもありますが, これはどういうことですか。
- 問V3-18 そのような動詞はほかにもありますか。
- 問V3-19 「出づ **id-**」はどのようにして現代語の「出る **de-**」になりましたか。
- ※問V3-20 「流るる水」と「流れる水」について説明してください。
- 問V3-21 #「含む」は現代語でも, **hukum-** と **hukum;e-** の使い方がありますか。
- 問V3-22 「ちょっと足りない/足りない」の下線部の違いを説明してください。
- 問V3-23 「生く」はZ2にもありますが, 意味の違いはありますか。
- ※問V3-24 右ページの **tod;i-** は **toz;i-** に変化しました。これはどういうことですか。

- 問V3-25 「舞ふ」と「回る」は、どういう意味関係でしたか。
- 問V3-26 右ページ上の「(善悪を) 分く wak-」は、どういう意味でしたか。
- 問V3-27 右ページ下の「掴む tukam-」は、なぜ特殊と思われるのですか。
- 問V3-28 「疲れる」という語の構造を示してください。
- 問V3-29 「呼ばれる」の受動の例と、T5の自動詞の例を示してください。
- ※問V3-30 「別れる」というとき、wak- の主体は何ですか。
- 問V3-31 「消ゆ kiy-」は「消やす kiy-as-」でなく、「消す kes-」なのはなぜですか。
- 問V3-32 T9にも[他 as 他]がありますが、このT6との違いは何ですか。
- ※問V3-33 「のぞかせる」の他動詞と原因基での使用例を示してください。
- 問V3-34 「持たせる」の他動詞と原因基での使用例を示してください。
- 問V3-35 「寝る」「寝せる」「寝させる」の構造と意味の違いを示してください。
- ※問V3-36 「着る」「着せる」「着させる」の構造と意味の違いを示してください。
- 問V3-37 右ページ関連。「1人抜いて／抜かして数えた」の構造の違いは何ですか。
- 問V3-38 上の①, ②での、鎌倉時代と江戸時代での変化を説明してください。
- 問V3-39 四段活用が五段活用になったのは動詞(語幹)が変化したからですか。
- 問V3-40 「係り結び」といわれる現象のおかげで何が実現したのですか。
- 問V3-41 このページに示された「変化」を簡単な表にすることができますか。
- ※問V3-42 「する」はなぜ変格活用なのですか。
- 問V3-43 「来る」はなぜ変格活用なのですか。
- 問V3-44 「死ぬ」はなぜ古語で変格活用、現代語で正格活用(五段活用)なのですか。
- 問V3-45 「あり」は古語でなぜ変格活用なのですか。
- ※問V3-46 「ある」の否定形「あらない」はなぜないのですか。
- ※問V3-47 「食べる」は古語には「飲む」の意味もありました。なぜですか。
- 問V3-48 現代語では終止形は「食べる」ですが、古語ではどうですか。
- 問V3-49 「作品に手を／手が触れる」では、なぜ「を／が」両方が可能なのですか。
- ※問V3-50 「言いふらす」の「ふらす」は、どういう意味ですか。
- 問V3-51 現代語では、「山が見える」と「目が見える」はどんな構造ですか。
- ※問V3-52 国語文法の「かな語幹」、たとえば「か」で、動詞が特定できますか。
- ※問V3-53 kas-, kat-, kari-, kare- などの語幹で動詞を特定できますか。
- 問V3-54 国語文法では、「飲む」の連用形の枠の中になぜ「ん」があるのですか。
- 問V3-55 五段活用動詞・連用形の枠内に2とおりの表示がない動詞は何ですか。
- 問V3-56 現代語の「取られる」は、奈良時代、室町時代にはどう言いましたか。
- 問V3-57 学校で助動詞「れる・られる」と習いますが、これは別のものですか。
- 問V3-58 国語文法では -ay;Ø-u のことをなぜ「ゆ」というのでしょうか。
- 問V3-59 動詞「いましめる」の中に -(a)sim;Ø- はありますか。
- ※問V3-60 「くるしめる」は「いましめる」の構造と同じですか。

- ・下の問いは、『日本語のしくみ(4)』の最終ページの問いを再掲載したものです。
- ・解答例はありませんが、『日本語のしくみ(4)』の指定箇所を読めば分かります。

- 1 「勝つ」はテ形にすると、なぜ「勝て」ではなく「勝って」になるのですか。 p.5
- 2 「買う」はテ形にすると、なぜ「買うて」ではなく「買って」になるのですか。 p.6
- 3 「死ぬ」はテ形にすると、なぜ「死にて」ではなく「死んで」になるのですか。 p.8
- 4 「呼ぶ」はテ形にすると、なぜ「呼ぶて」ではなく「呼んで」になるのですか。 p.9
- 5 「咲く」はテ形にすると、なぜ「咲くて」ではなく「咲いて」になるのですか。 p.10
- 6 「脱ぐ」はテ形にすると、なぜ「脱いて」ではなく「脱いで」になるのですか。 p.11
- 7 「起きる」はテ形にすると、なぜ「起きって」ではなく「起きて」に？ p.13
- 8 「なさる」は「なさいます」になりますが、「ささる」もそうですか。なぜ？ p.18
- 9 [過去0/50/100]で「きのう雪が降ったら、……」の文を完成させてください。 p.23
- 10 「小学生なら無料です。」の[現在0/50/100]の場合を説明してください。 p.23
- 11 「つ・ぬ・たり・り・き」を2つに分類してください。 V2.2
- 12 「てき・にき・けり・てけり・にけり」の構成を説明してください。 V2.2
- 13 古語の過去の表現は種類が多いのに、現代語ではなぜ「た」になるのですか。 V2.3
- 14 ひらがなで考察をしている国語学には、文法の把握に困難がありますか。 p.36
- 15 「原因態」の使役を表す用法について説明してください。 V3.1 [1]
- 16 「受影態」の受動を表す用法について説明してください。 V3.1 [1]
- 17 「許容態」の -ur- の形はほんとうにあったのですか。 V3.1 [3]
- 18 kudak;Ø-u と kudak;e-Øi の2つの Ø について説明してください。 p.41
- 19 「あける」「おきる」の古語の連体形が「…くる」「あくる」「おくる」なのはなぜ？ p.41
- 20 「裂ける sak;e-ru, sak-e-ru」の記号「;」は何を表していますか。 p.44
- 21 「付く tuk-」→「付ける tuk;e-」だと、自動詞から他動詞になるのはなぜ？ p.54
- 22 「割る war-」→「割れる war;e-」だと、他動詞から自動詞になるのはなぜ？ p.55
- 23 「漏る mor-」→「漏れる mor;e-」だと、自動詞のままなのはなぜですか。 p.56
- 24 許容態 -e (-ur, -Ø) は、対自、対他のどちらで機能しますか。 V3.2
- 25 許容態 -i (-ur, -Ø) は、対自、対他のどちらで機能しますか。 V3.2
- 26 「縮む tidim-」→「縮まる tidim;ar-」だと、自動詞のままなのはなぜですか。 p.60
- 27 「始む hazim-」→「始まる hazim;ar-」だと、他動詞から自動詞になるのはなぜ？ p.61
- 28 「(その習慣は) すたれる」の構造を示してください。 p.63
- 29 「尽かす tuk-as-」と「尽くす tuk-us-」の異同について説明してください。 p.64
- 30 自動詞「泣く nak-」も他動詞「知る sir-」も-as-e-を付けるとなぜ他動詞に？ p.66
- 31 「剥ぐ hag-」も「剥がす hag;as-」も他動詞なのはなぜですか。 p.71
- 32 受影態-ar-はふつう自動詞を作りますが、「授かる saduk;ar-」はなぜ他動詞も？ p.77
- 33 国語学での動詞語幹はなぜ動詞を特定できないのですか。 p.92
- 34 国語学の助動詞「せる・させる」「れる・られる」の形態素表示は？ pp.94-95

